

知事メッセージ

はいさい　ぐすーよー　ちゅーうがなびら。

5月12日は「民生委員・児童委員の日」です。

民生委員は、それぞれの地域における、住民の皆様の最も身近な相談相手です。厚生労働大臣から委嘱され、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な支援を行い、社会福祉の増進に努める方々です。

また、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配事などの相談・支援等を行う児童委員も兼ねています。

沖縄県内では約1,840名（※中核市である那覇市を含む。）の皆様が、委員として献身的に活動なされており、その社会奉仕の精神及び熱意に対して深く敬意を表するとともに、県民を代表して心から感謝を申し上げます。

近年、社会構造や経済状況の変化を背景として、家族、地域、職場等における人間関係の希薄化が課題として指摘されています。こうした中、SOSを発しにくく、誰にも相談できない地域住民のニーズを把握し、住民の立場に立って福祉行政との橋渡しを担う民生委員・児童委員の役割は、ますます重要となっています。また、その活動を円滑に進めていくためには、県民の皆様の御理解と御協力が不可欠です。

本日から5月18日までの1週間は、「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」となっており、「支え合う　住みよい社会　地域から」をスローガンに、その活動の重要性を広く周知するため全国一斉に様々なPR活動等が行われます。

沖縄県内においても、各市町村独自の取組が行われることとなっております。県民の皆様におかれましては、「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」を機に、民生委員・児童委員の活動に対し、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

ゆたさるぐとう　うにげーさびら。

令和8年5月12日

沖縄県知事　玉城　デニー

（本文：696文字）